

株式会社アドバンスクリエイト 平成29年9月期第3四半期 業績説明資料

(平成28年10月～平成29年6月)



平成29年8月8日



本誌取扱上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。

従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

目次

<u>I. 平成29年9月期第3四半期の状況</u>	4
■ 決算概要	5
■ 営業管理データ	8
<u>II. 当社の戦略について</u>	15
■ はじめに	16
■ ビジネスモデル	17
■ マーケティング戦略	18
■ 投資戦略	20
■ 管理体制	21
■ 資本政策	22
■ CSR活動	23
■ 総括	24

I . 平成29年9月期第3四半期の状況

平成29年9月期第3四半期 決算ハイライト

－ 連結業績 －

売上高	5,787百万円となり、前年同期比366百万円の増収
営業利益	590百万円となり、前年同期比94百万円の減益
経常利益	577百万円となり、前年同期比85百万円の減益
四半期純利益	419百万円となり、前年同期比20百万円の増益

配当については、第2四半期末・期末ともに1株当たり22円50銭、年間合計は1株当たり45円00銭の配当を実施予定です。

平成29年9月期第3四半期 損益計算書（連結）

(単位:百万円)	平成28年9月期 第3四半期	構成比(%)	平成29年9月期 第3四半期	構成比(%)	前年同期比 増減率(%)
売上高	5,420	100.0	5,787	100.0	6.8
保険代理店事業	4,770	88.0	5,126	88.6	7.5
メディア事業	698	12.9	580	10.0	▲ 16.9
再保険事業	474	8.8	509	8.8	7.3
連結修正	▲ 523	▲ 9.7	▲ 429	▲ 7.4	—
売上原価	1,101	20.3	1,416	24.5	28.6
売上総利益	4,319	79.7	4,370	75.5	1.2
営業費用	3,633	67.0	3,780	65.3	4.0
営業利益	685	12.6	590	10.2	▲ 13.8
保険代理店事業	441	8.1	349	6.0	▲ 20.9
メディア事業	169	3.1	144	2.5	▲ 14.4
再保険事業	73	1.3	95	1.6	30.3
経常利益	663	12.2	577	10.0	▲ 12.9
四半期純利益	398	7.4	419	7.3	5.3
一株当たり四半期純利益(円)	37.03		39.54		

※前期第3四半期より、セグメント上において広告代理店事業をメディア事業に名称変更しております。

- 保険代理店事業においては、3月における駆け込み需要の反動減に対応し、積極的にプロモーションを行いました。メディア事業においては、スポットでの広告受注から、レギュラー広告受注へと形態が変化してきたことに伴い一時的に減収となっておりますが、引き続き好調に広告出稿をいただいております。また、再保険事業は引き続き順調に伸張しており、連結売上高は6.8%の増収となりました。
- 利益面では、再保険事業は引き続き好調を維持し増益となったものの、保険代理店事業における積極的なプロモーションに伴う売上原価の増加及び人件費等営業費用の増加により、連結経常利益は12.9%の減益となりました。なお、四半期純利益については特別利益(投資有価証券売却益等)を計上したことにより5.3%の増益となっております。

平成29年9月期第3四半期 貸借対照表（連結）

(単位:百万円)	平成28年9月期末	平成29年9月期 第3四半期末	増減
流動資産	3,448	3,638	190
現預金	1,047	935	▲ 112
売掛金	866	747	▲ 119
未収入金	1,130	1,413	282
その他	403	543	140
固定資産	3,512	3,401	▲ 110
有形固定資産	643	544	▲ 99
無形固定資産	795	713	▲ 81
投資その他の資産	2,072	2,143	70
繰延資産	0	—	0
資産合計	6,960	7,040	79

(単位:百万円)	平成28年9月期末	平成29年9月期 第3四半期末	増減
流動負債	1,669	1,874	204
短期有利子負債	264	118	▲ 146
その他	1,404	1,756	351
固定負債	724	946	222
長期有利子負債	247	441	194
その他	477	504	27
負債合計	2,394	2,821	426
資本金	2,915	2,915	-
資本剰余金	352	352	-
利益剰余金	1,563	1,463	▲ 99
自己株式	▲ 363	▲ 629	▲ 265
その他	99	118	18
純資産合計	4,566	4,219	▲ 347
負債及び純資産合計	6,960	7,040	79

【資産】

資産合計は、前期末比で79百万円増加しております。

主に、債権流動化に関連して、未収入金が増加(282百万円)したことによるものであります。

【負債及び純資産】

負債合計は、前期末比で426百万円増加しております。

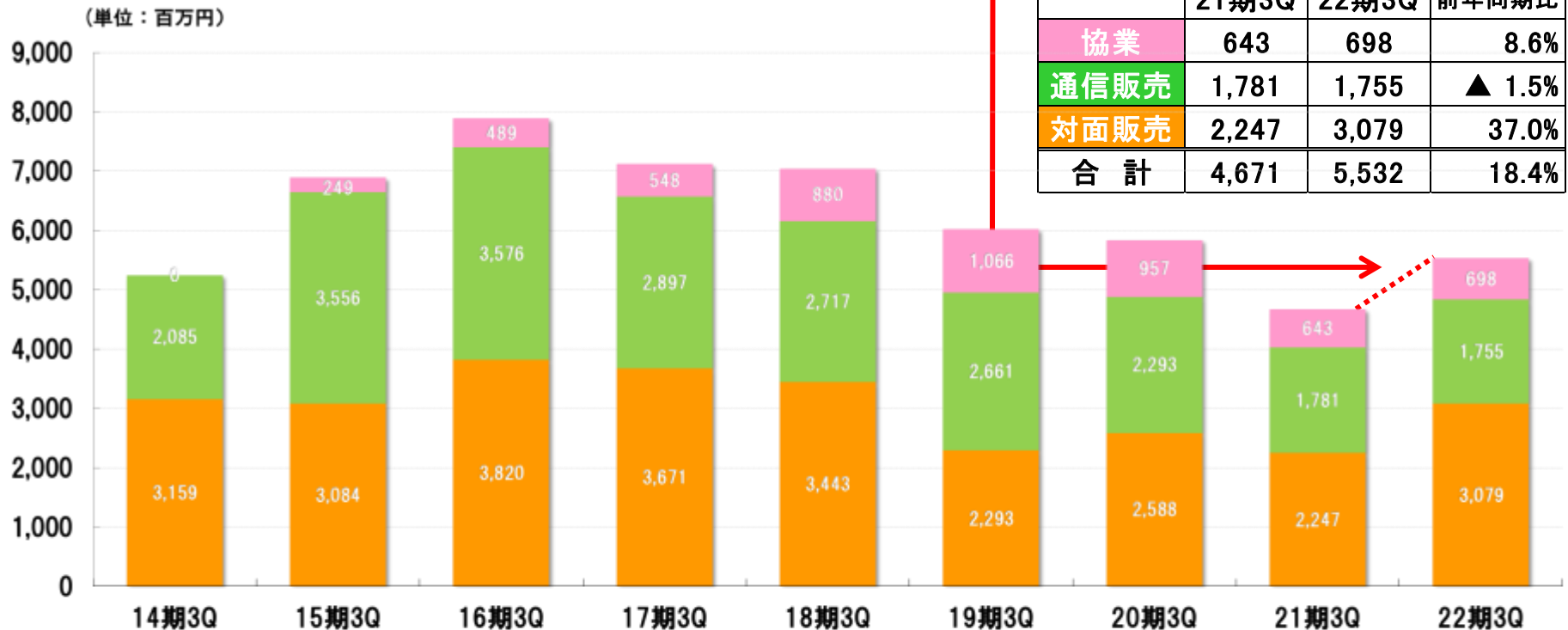
主な増加要因は、従業員持株会支援信託ESOPの再導入に伴う有利子負債の増加によるものです。

純資産合計は、前期末比で347百万円減少しております。

これは、四半期純利益の計上により増加したものの、前期末及び当期第2四半期末の配当金の支払い並びに上記ESOPの再導入に伴う自己株式の増加により純資産が減少したことによるものです。

チャネル別申込ANPの推移

対面販売部門の増加により、前年同期比**18.4%増**



※ANPとは新契約年換算保険料の意味で、月払い保険料5,000円の場合、ANPは60,000円となります。

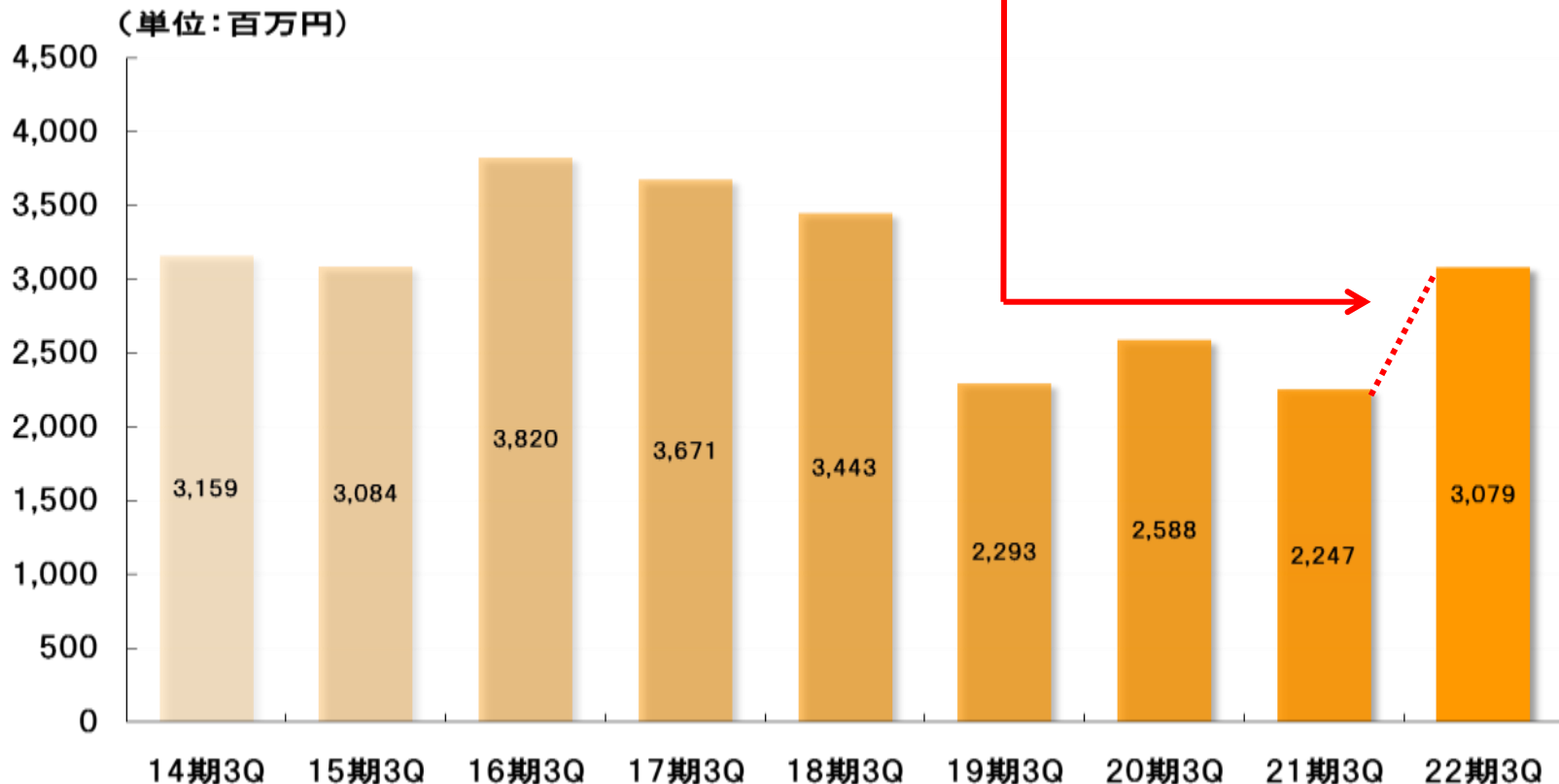
※当社グループの収益は、新規申込ANPベースでの収入の他、既存の保有契約ストックから得られる保険代理店手数料収入や、メディア関連収入、再保険事業収入等で構成されております。

※直近四半期については速報値ベースで記載しております。

※第21期より一時払い保険について調整を行っており、過去の計算結果についても最新の算出方法に基づき再計算しております。

対面販売ANPの推移

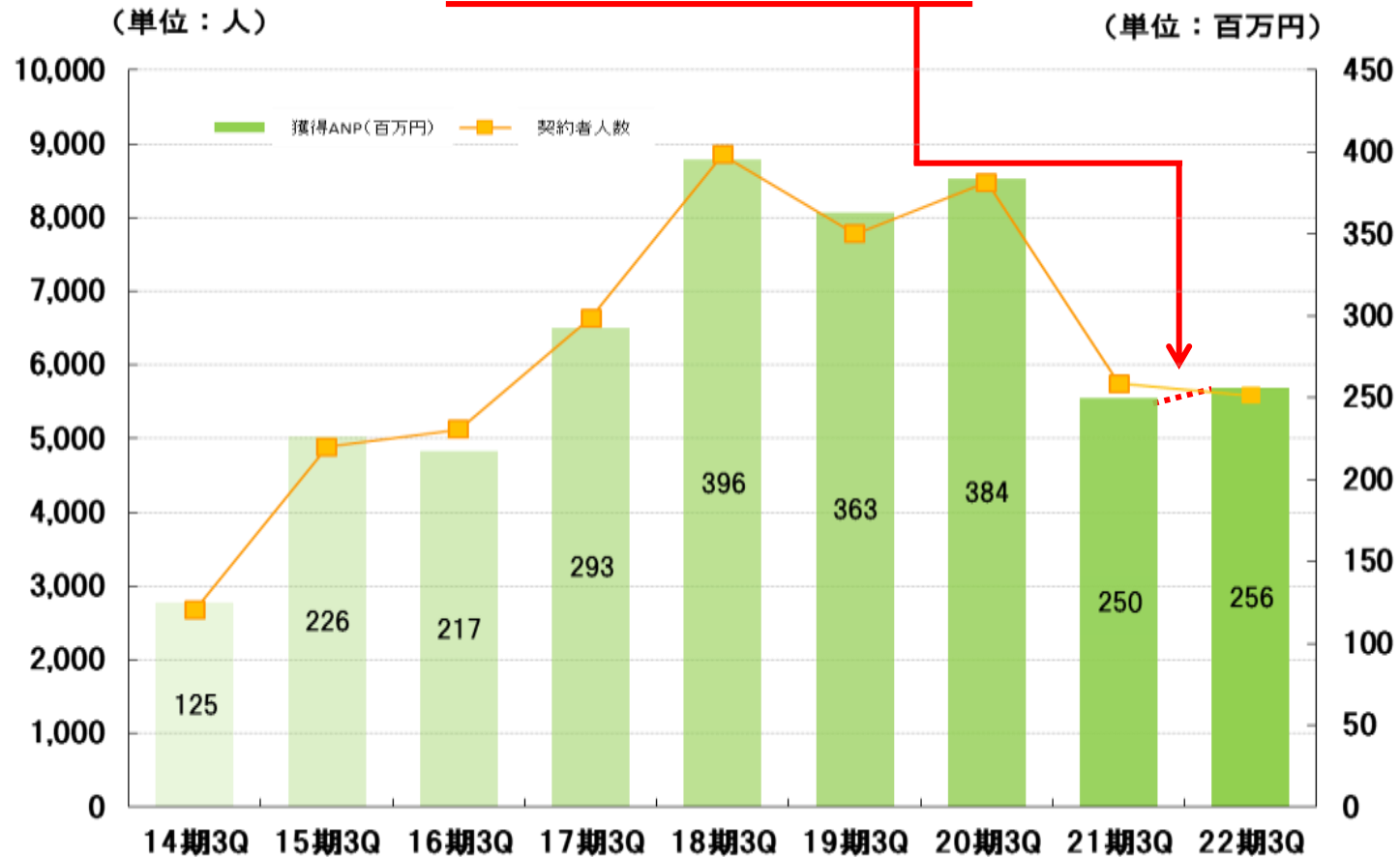
マイナス金利の影響により貯蓄性商品の販売が伸び悩む中、
対面販売ANPにおいては前年同期比**37.0%増**



※対面販売ANPの計算上、一時払い保険について調整を行っております。

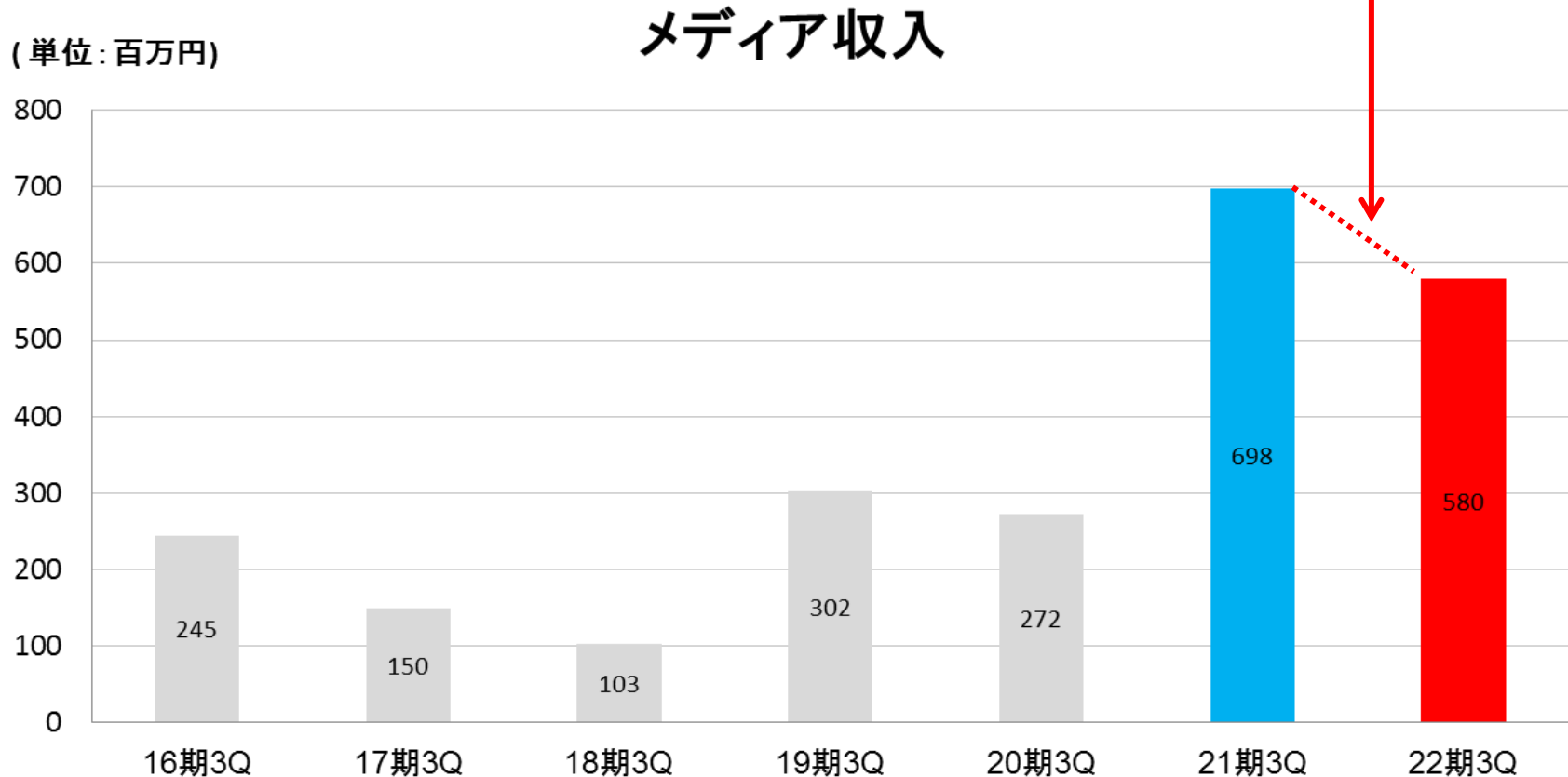
ネット生保ANPの推移

効果的なWEBマーケティングにより、
前年同期比**2.6%増**



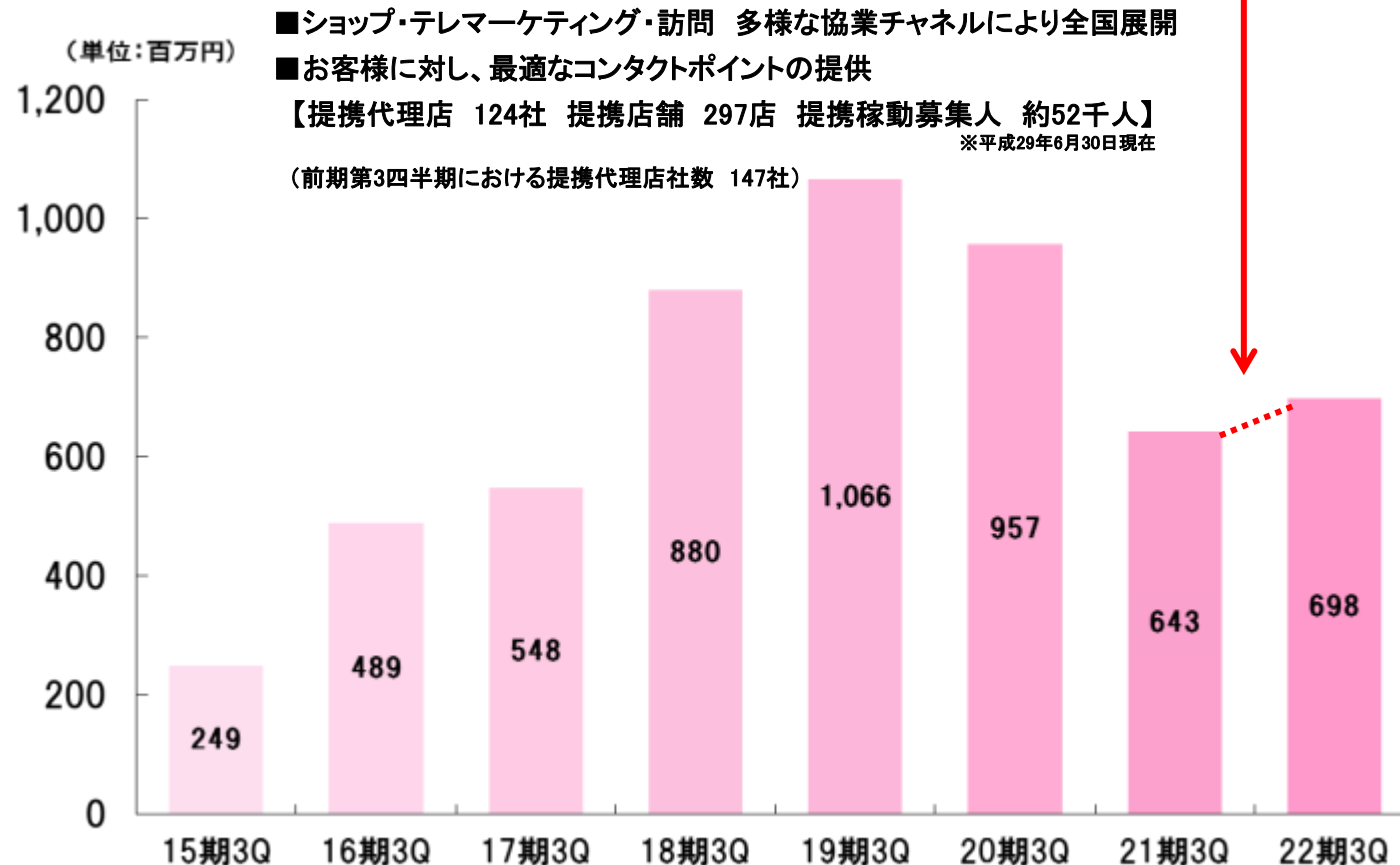
メディア収入の推移

広告受注形態の変化（スポット→レギュラー）に伴い
一時的に減収となり、前年同期比**16.9%減**



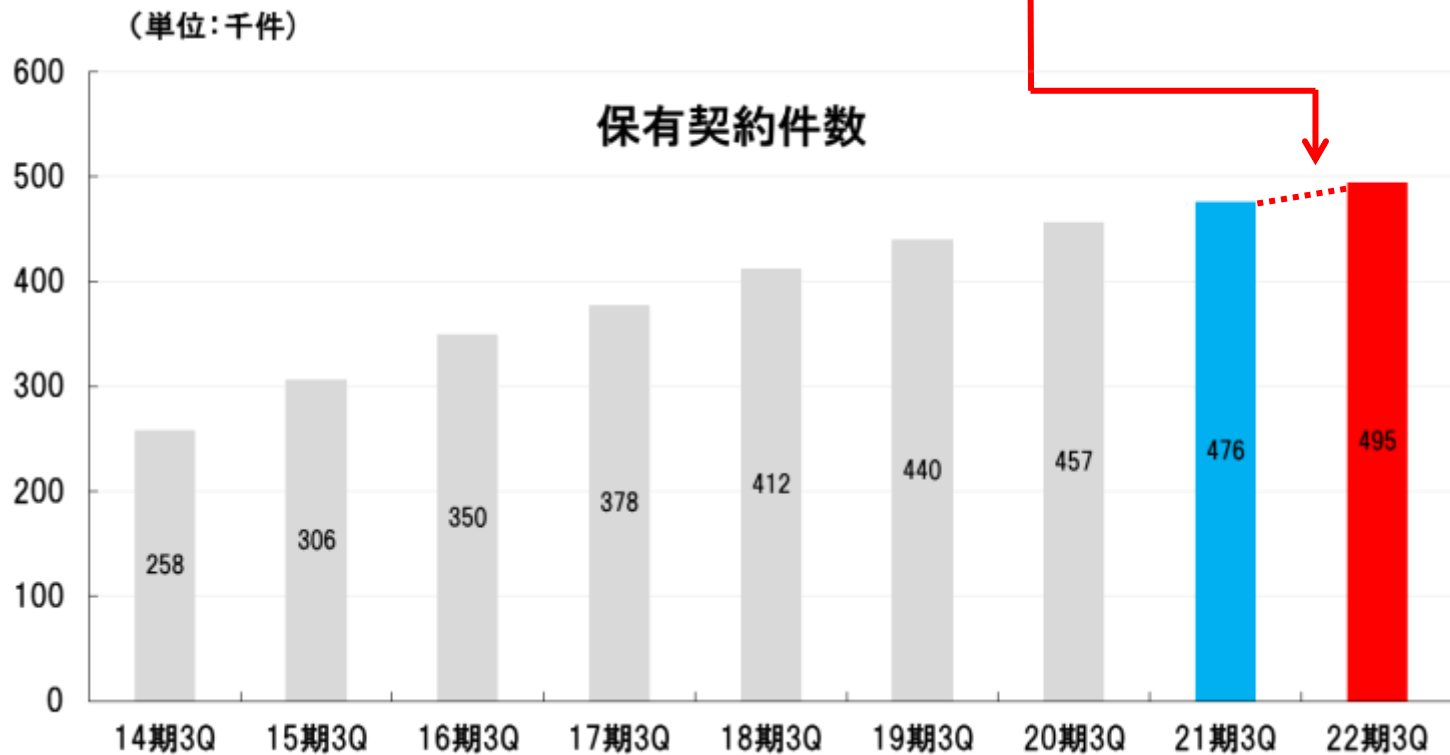
協業ANPの推移

管理体制強化のため提携先の集約化を図り、提携社数は23社減少
協業においても貯蓄性商品が伸び悩む中、前年同期比**8.6%増**



保有契約件数の推移

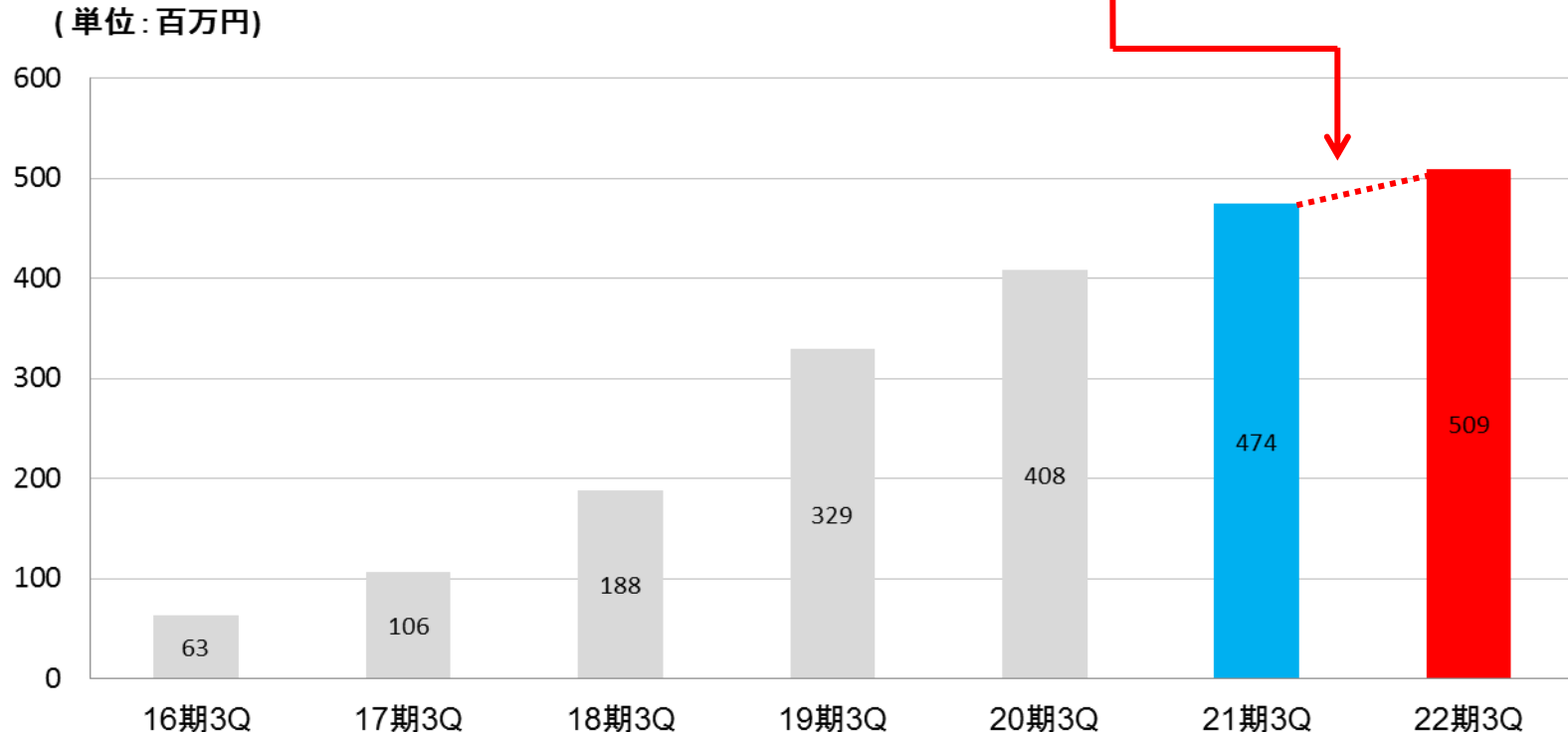
保有契約件数は順調に増加し、前年同期比**4.0%増**



※ 保有契約件数の対象となるものは生命保険・医療保険等継続・更新されるものとし、短期傷害保険分(旅行保険等)については除いております。

再保険事業収入推移

再保険事業収入は引き続き伸張し、**前年同期比7.3%増**



11社(生命保険7社、損害保険2社、少額短期保険2社)の再保険引受

Ⅱ. 当社の戦略について

当社の保険通販専門代理店としての変遷

ポスティング(1997年)



WEBマーケティング(現在)



保険通販専門代理店という一貫した軸

ロジスティクス



データベース



高い認知度



高い生産性



ビジネスモデル

収益のポートフォリオ

代理店事業・メディア事業・再保険事業・ASP/BPOにより、
保険に関するあらゆる収益機会へのアプローチ

※ASP(アプリケーション・サービス・プロバイダ)、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)

チャネルのポートフォリオ

WEBで集客し、あらゆる販売チャネルでアプローチ
ネット完結・通信販売・対面販売・協業へと繋げる

WEBマーケティング

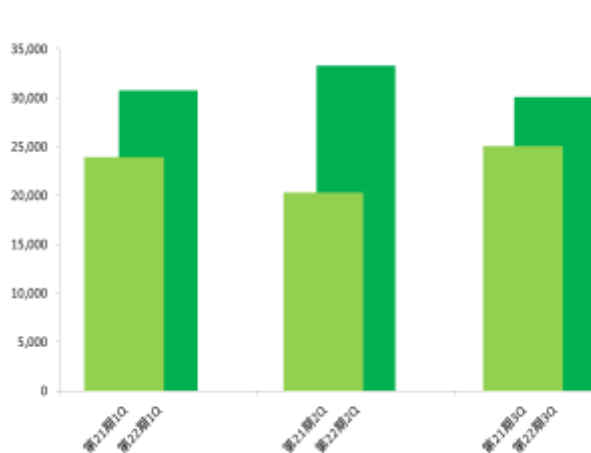
保険業法改正後、変化に対応すべくマーケティング手法を見直したことにより資料請求数・アポイント数※が増加

※アポイント数とは、Webから対面販売チャネルに誘導した商談数となります。(対面拠点で獲得したアポイントは含んでおりません。)

< 四半期対比(3ヶ月) >

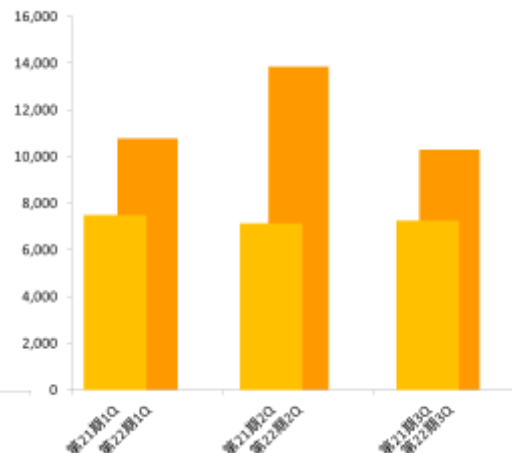
資料請求数

(単位: 件)



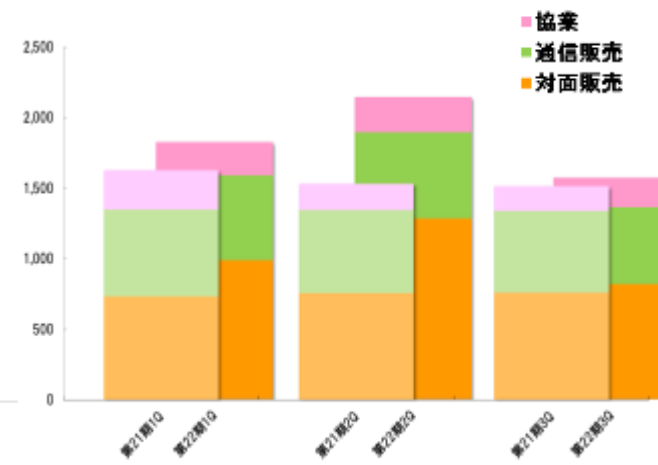
アポイント数

(単位: 件)



申込ANP

(単位: 百万円)



対面販売チャネル

「保険市場 コンサルティングプラザ」は引き続き
高品質なコンサルティングサービスを追求



<梅田阪急コンサルティングプラザ>

<千里中央コンサルティングプラザ>

<本店コンサルティングプラザ>

投資戦略

ROI（投資対効果）の極大化を図る

IT・システム投資

- システム投資の継続・強化
- 『IT』から『AI』へ
→ AIと人材の相乗効果により、より高い次元でのセキュリティと環境変化へのフレキシブルな対応

人材投資

- 採用活動の強化
- 積極的な人材投資
- 福利厚生制度の充実



管理体制の強化

従前より整備を行ってきた管理体制を強化・継続

改正保険業法への対応

- ◆ 改正保険業法に対応したシステム開発及び各種研修を継続的に実施

ガバナンス体制・コンプライアンス体制

- ◆ 各種特設委員会の運営
(ガバナンス委員会、コンプライアンス委員会、社内プロジェクトチーム 等)
- ◆ コンプライアンス研修の実施・自社法務部門による牽制

情報セキュリティ

- ◆ 個人情報保護体制の構築・情報セキュリティ監査の実施
- ◆ 担当部署による有人監査体制の確立

提携先代理店の 個人情報管理体制の確認

- ◆ 提携先の管理体制水準の向上を目的とした監査の実施

株主の状況

【平成29年3月31日現在】 株主数 6,720名 (単元未満株主を含む)

■ 上位10名

株主名	所有株数	持ち株比率(%)
有限会社濱田ホールディングス	2,206,200	20.05
濱田 佳治	763,600	6.94
住友生命保険相互会社	549,600	4.99
メットライフ生命保険株式会社	549,600	4.99
濱田 亜季子	472,700	4.29
富国生命保険相互会社	450,000	4.09
太陽生命保険株式会社	365,500	3.32
AIG富士生命保険株式会社	273,000	2.48
三井住友海上火災保険株式会社	249,400	2.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	241,700	2.19

CSRの取組み

「大阪マラソン2017」への協賛・参加

社員の健康増進に加え、広く一般市民のスポーツ活動を積極的に応援



©Osaka Marathon 2016

「関西大学 社会安全学部 寄附講座」を担当

社員講師による講義を実施



決算情報ハイライト

連結 (単位:百万円)	18期 通期実績	19期 通期実績	20期 通期実績	21期 通期実績	22期 通期予想	前期比
売上高	7,625	7,462	7,274	7,295	7,910	8.4%
営業利益	1,295	1,131	1,153	954	1,030	7.9%
経常利益	1,258	1,107	1,143	926	1,000	7.9%
当期純利益	648	655	644	582	600	2.9%
売上高経常利益率	16.5%	14.8%	15.7%	12.7%	12.6%	
ROE	16.2%	15.6%	14.1%	12.4%	13.3%	

【株主還元】

平成29年9月期の配当については、第2四半期末・期末ともに1株当たり22円50銭、年間合計は1株当たり45円00銭の配当を実施予定です。

目標とする経営指標

ROE	20%以上
売上高経常利益率	20%以上
配当性向	50%以上
自己資本比率	80%以上



お問合せ先

管理部

置田 誠

TEL

06-6204-1193(代表)

メールアドレス

acir@advancecreate.co.jp

URL

<https://www.advancecreate.co.jp/>